

No	基本 施策	施策	施策事業名	担当課
1	1 文化だれもが気軽に触れ、楽しむところを 享受できる芸術活動の拡充	① 誰もが参加できる活動や 体験、鑑賞活動の拡充	市民文化の日	文化生涯学習課
2			府中市民芸術文化祭	文化生涯学習課
3			プロムナードコンサート	文化生涯学習課 (府中の森芸術劇場)
4		② 子どもたちの 文化創造体験の拡充	青少年音楽祭	文化生涯学習課
5			美術鑑賞教室	美術館
6			演奏家による音楽ワークショップ	文化生涯学習課 (府中の森芸術劇場)
7		③ 文化に対する 支援環境の整備	郷土の森博物館リニューアル事業	ふるさと文化財課 (郷土の森博物館)
8			府中の森芸術劇場の管理運営	文化生涯学習課 (府中の森芸術劇場)
9			各種情報媒体の活用	秘書広報課 広報担当
10	2 まちづくり協力を芸術に まよる担い手 市民文化づくり協力を芸術に まよる担い手	① 伝統芸能や市民の 文化・芸術活動の 担い手育成	府中囃子伝承普及事業	文化生涯学習課
11			武蔵国府太鼓伝承普及事業	文化生涯学習課
12			博物館ボランティア活動	ふるさと文化財課 (郷土の森博物館)
13		② 地域の芸術家に対する支 援	公開制作	美術館
14			市民美術展	美術館
15			府中の森めばえコンサート	文化生涯学習課 (府中の森芸術劇場)
16	3 新府歴た中史と文有伝化の統を文に創化よ造をりす大培る切わまにれちつ、くり	① 文化財の保存・活用	文化財保存活用事業	ふるさと文化財課
17			埋蔵文化財保存活用事業	ふるさと文化財課
18			武蔵国府跡保存活用事業	ふるさと文化財課
19		② 地域文化の 継承と活性化	府中市史編さん事業	ふるさと文化財課 市史編さん担当
20			由来碑管理	文化生涯学習課
21			各文化センターコミュニティ圏域交流事業	地域コミュニティ課
22		③ 歴史、自然、文化が一体 化した魅力的な景観の保 全とまちの形成	府中水辺の楽校	環境政策課
23			市民花壇	公園緑地課(R4～) ※R3までは環境政策課
24			馬場大門のケヤキ並木保護対策事業	ふるさと文化財課
25	4 生文市ま化内れを外通からまし人づ交々く流がりと集にいぎわいが	① 文化資源を活用した府中 の魅力発信	東京2020参画プログラムの推進	政策課 ※R3で事業終了
26			観光ガイドツアー	観光プロモーション課
27			市民文化の日(再掲No.1)	文化生涯学習課
28		② 地域社会での連携及び 交流機会の充実	学校協力事業	ふるさと文化財課 (郷土の森博物館)
29			青少年対策地区委員会育成事業活動	児童青少年課
30			各文化センターコミュニティ圏域交流事業(再掲No.21)	地域コミュニティ課
31		③ 多文化共生の推進	多言語生活情報紙インフォラインの発行	多様性社会推進課
32			友好都市との交流促進	多様性社会推進課
33			東京2020大会に向けた文化事業	文化生涯学習課 (府中の森芸術劇場)

府中市文化芸術振興計画(平成30～令和7年度)施策目標達成状況

令和3年度									令和4年度			令和5年度			令和6年度			備考			
No	基本 施策	指標名(単位)	担当課	指標の説明	基準値	現状値	令和7年度 目標値	令和2年度 実績	年度目標値	実績	評価	年度目標値	実績	評価	年度目標値	実績	評価				
1	【基本施策1】 だれもが気軽に身近なところで文化・芸術に触れ、喜びと感動を享受できるまちづくり	「市民文化の日」の来場者数(人)	文化生涯学習課	10月第2日曜日の「市民文化の日」に、市内文化施設等を訪れ、文化・芸術に触れた人数です。増加を目指します。	来場者16, 551人 (H28年度)	来場者16, 551人 (H28年度)	19, 000人	2, 439人	18, 000人	11, 803人	新型コロナウイルス感染症の影響で目標を達成することができなかった。	18, 300人	9, 425人	施設休館の影響で目標を達成することができなかった。	18, 500人	13, 941人	施設休館の影響で目標を達成することができなかった。	18, 500人	20, 731人	周年記念事業を実施したため目標を達成できた。	
2	【基本施策2】 文化・芸術の担い手育成をはじめとする市民協働によるまちづくり	1年間のうちに、文化・芸術活動を行った人の割合(%)	文化生涯学習課	市民への意識調査により把握します。増加を目指します。	41. 8% (H29年度)	41. 8% (H29年度)	50.0%	-	42. 0%	-	-	44. 0%	-	-	46. 0%	23.40%	目標を達成することができなかった。	48. 0%	※実施前のため数値なし		
3	【基本施策3】 歴史と伝統により培われた府中固有の文化を大切にし、新たな文化を創造するまちづくり	府中市市史編さん事業による刊行物の発行点数(種類)	ふるさと文化財課	市史編さん事業による刊行物(通史編、資料編、報告書、別編、付属刊行物)を発行し、府中市の歴史について広く周知し、教育分野での活用ができるようにします。	-	-	22種類	市史刊行物5種の発行 (原始古代資料編3、近現代資料編中、近世資料編下、近現代資料編別冊、古文書調査報告書(四ッ谷)、市史研究3号)	市史刊行物5種の発行 (近世資料編中、近世資料編下、近現代資料編下、古文書調査報告書、市史研究4号)	市史刊行物3種の発行 (近現代資料編下、古文書調査報告書(是政)、市史研究4号)	おおむね計画通り達成できている。	市史刊行物5種の発行 (原始古代通史編、中世通史編、近世通史編、近現代通史編上、市史研究5号)	市史編さん各専門部会による資料調査を実施 市史刊行物3種の発行(近世資料編中・下、市史研究5号) 市史編さんだよりを1回発行	おおむね計画通り達成できている。	市史刊行物5種の発行 (近現代通史編下、自然通史編、民俗通史編、考古美術工芸通史編、市史研究6号)	市史編さん各専門部会による資料調査を実施 市史刊行物の4種の発行(原始・古代通史編、中世通史編、近現代通史編上、自然編) 市史編さんだよりを1回発行	おおむね計画通り達成できている。	市制70周年事業における事業完了の報告 市史編さん事業全体の残務処理 市史刊行物の補足発行	市史編さん各専門部会による資料調査を実施 市史刊行物2種の発行(近現代通史編下、考古・美術工芸編) 刊行記念講演会、パネル展などの開催 市史刊行物2種の発行予定(近世通史編、民俗編)	おおむね計画通り達成できている。	資料編・報告書等に基づいて通史編を刊行分冊化により種類増
4	【基本施策4】 市内外から人々が集い、文化を通して交流とにぎわいが生まれるまちづくり	府中市が文化的であると感じている市民の割合(%)	文化生涯学習課	市民への意識調査により把握します。増加を目指します。	82. 9% (H29年度)	82. 9% (H29年度)	88. 0%	-	83. 0%	-	-	84. 0%	60.40%	目標を達成することができなかった。	85. 0%	63.30%	目標を達成することができなかった。	87. 0%	※実施前のため数値なし		

No	基本 施策	施策	施策事業名	担当課	事業内容	計画期間中の 取組内容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	備考
1	基本 施策 1 だれもが 気軽に 身近な ところで 文化・芸 術に触れ 、喜びと 感動を享 受できる まちづく り	① 誰 もが参 加でき る活動 や体験 、鑑賞 活動の 拡充	市民文化の日	文化生涯学習課	毎年10月第2日曜日を「市民文化の日」と定め、郷土の森博物館の入場料及び府中市美術館の観覧料を無料とするほか、その他各文化施設において各種イベントを実施します。	事業の拡大方法やPR方法について検討し、来場者の増加を目指します。	開催日 令和2年10月11日(日) 参加施設 9施設 参加者数 2,439人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業数を削減した。	開催日 令和4年10月9日(日) 参加施設 9施設 参加者数 11,803人 スタンプラリーからキーワードラリーに変更した。	開催日 令和3年10月10日(日) 参加施設 9施設 参加者数 9,425人 ルミエール府中の休館中の影響で参加者人数が減少した。	開催日 令和4年10月8日(日) 参加施設 9施設 参加者数 13,941人 キーワードラリーの期間を1ヵ月に延長した。	開催日 令和6年10月13日(日) 参加施設 10施設 参加者数 20,731人 市制施行70周年記念事業として中心市街地でもイベントを実施した。	
2			府中市民芸術文化祭	文化生涯学習課	府中市芸術文化協会加盟団体を中心として、毎年9月初旬から11月下旬にかけて実施しています。市内で文化活動を行っている個人や団体が参加でき、一般市民が参観できる様々な催しを行います。	府中市芸術文化協会との共催で実施し、市民が中心となって事業を更に発展させていきます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	開催日 令和4年9月11日～11月20日 来場者数 40,852人 参加者数 2,947人 新型コロナウイルスの影響により一部事業が中止となった。	開催日 令和5年9月16日～11月25日 来場者数 72,136人 参加者数 3,722人	開催日 令和6年9月14日～12月1日 来場者数 集計中 参加者数 集計中	
3			プロムナードコンサート	文化生涯学習課 (府中の森芸術劇場)	府中の森芸術劇場にてパイプオルガンを中心にした器楽等による室内楽の演奏会です。1日2回公演で、午前の部は乳幼児から参加できる公演として、午後の部は大人が気軽に楽しめるコンサートとして実施します。	内容を工夫しながら、引き続き実施します。	乳児対象の事業で広報を行うなど他事業と連携し集客に努めた。 開催日：令和2年4月11日(次年度延期)、6月27日(次年度延期)、9月12日、11月7日、12月12日 入場者数：計1,657人	子供向けのオルガン講座で講師に当公演の内容解説をしていただくほか、乳児対象の事業で広報を行うなど他事業と連携し集客に努めた。 開催日：令和3年4月10日、6月12日、9月4日(中止)、12月11日、令和5年2月19日 入場者数：計2,525人	子供向けのオルガン講座で講師に当公演の内容解説をしていただくほか、乳児対象の事業で広報を行うなど他事業と連携し集客に努めた。 開催日：令和4年4月16日、9月17日、10月22日、令和5年2月25日 入場者数：計2,433人	子供向けのオルガン講座で講師に当公演の内容解説をしていただくほか、乳児対象の事業で広報を行うなど他事業と連携し集客に努めた。 開催日：令和5年5月20日、12月9日、令和6年1月28日、2月17日 入場者数：計2,302人	改修工事につき休館中のため実施せず	
4		② 子 どもた ちの文 化創造 体験の 拡充	青少年音楽祭	文化生涯学習課	市内で活動している青少年音楽団体を対象に参加を募り、2日間にわたり、合奏の部及び合唱の部に分け、日頃の練習の成果を発表します。	参観者の増加を目指します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	市内で活動している青少年音楽団体を対象に参加を募り、2日間にわたり、合奏の部及び合唱の部に分け、日頃の練習の成果を発表した。 開催日：令和4年8月20日、21日 出演団体：24団体 入場者数：計1,893人	市内で活動している青少年音楽団体を対象に参加を募り、2日間にわたり、合奏の部及び合唱の部に分け、日頃の練習の成果を発表した。 開催日：令和5年8月26日、27日 出演団体：28団体 入場者数：計2,675人	市内で活動している青少年音楽団体を対象に参加を募り、2日間にわたり、合奏の部及び合唱の部に分け、日頃の練習の成果を発表した。府中の森芸術劇場休館中であつたため、学校法人明星学園内児五九十記念講堂にて開催した。 開催日：令和6年8月24日、25日 出演団体：32団体 入場者数：計2,832人	
5			美術鑑賞教室	美術館	市立小中学校全校に対して、美術作品(絵画、彫刻など)の鑑賞機会を設け、子どもたちの美術に対する関心を高めるとともに、館内観覧時におけるマナーを学習します。	学校と連携し、引き続き実施していきます。	■府中市立小学校美術鑑賞教室19校実施 参加者2,101人 ■府中市立中学校美術鑑賞教室9校実施 参加者974人	■府中市立小学校美術鑑賞教室21校実施 参加者2,102人 ■府中市立中学校美術鑑賞教室10校実施 参加者1,271人	■府中市立小学校美術鑑賞教室22校実施 参加者2,296人 ■府中市立中学校美術鑑賞教室11校実施 参加者1,738人	■府中市立小学校美術鑑賞教室22校実施 参加者2,201人 ■府中市立中学校美術鑑賞教室11校実施 参加者1,717人	年度途中のため、実績記入不可	
6			演奏家による音楽ワークショップ	文化生涯学習課 (府中の森芸術劇場)	学校の授業の一環として、市内小中学校の体育館や音楽室等でプロのアーティストによるテーマ性のある出張コンサートを行います。	内容について、より音楽に親しめる要素を取り込みながら引き続き実施します。	アーティストはプロの弦楽器奏者4名による弦楽四重奏。楽器の紹介や質問コーナーを作り、生の弦楽四重奏を楽しめる内容とした。 開催日：令和2年9月25日・29日・30日 参加者数：市内中学校5校33クラス 1,424人	アーティストはプロの一流ギタリスト(クラシックギター)。ギターの奏法の解説や質問コーナーを作り、小学生でもクラシック音楽を楽しめる内容とした。 開催日：令和3年9月21日・22日・28日・29日 参加者数：市内小学校8校28クラス 964人	アーティストはプロの一流ギタリスト(クラシックギター)。ギターの奏法の解説や楽器演奏体験、質問コーナーを作り、小学生でもクラシック音楽を楽しめる内容とした。 開催日：令和4年7月7日・8日・11日・15日 参加者数：市内小学校8校32クラス 1,092人	アーティストはプロの一流ギタリスト(クラシックギター)。ギターの奏法の解説や楽器演奏体験、質問コーナーを作り、小学生でもクラシック音楽を楽しめる内容とした。 開催日：令和5年6月19日・22日・23日 参加者数：市内小学校6校24クラス 789人	アーティストはプロの一流ヴァイオリニストとギタリスト。楽器の奏法の解説や作曲者の紹介、質問コーナーを作り、クラシック音楽に親しみをもってもらえる内容とした。 開催日：令和6年7月2日・3日・4日、9月3日・10日・12日・25日・26日 参加者数：市内中学校全11校96クラス 3,317人	
7		③ 文 化に対 する支 援環境 の整備	郷土の森博物館リニューアル事業	ふるさと文化財課 (郷土の森博物館)	本館常設展示室の全面的なリニューアルを終了し、市民の文化創造を育む新しい博物館としての事業展開を図ります。	平成30年5月に予定しているプラネタリウムリニューアルを契機に更なる活用を図ります。	▼プラネタリウム番組(通常放映) 29,956人※1 ▼プラネタリウム番組(学習放映) 4,665人※1 ▼プラネタリウム公演事業(特別放映を含む) 4,894人 人 ※1※2 2,279人 ▼天文普及事業 1,327人 ▼その他天文事業 65人 ▼博物館事業と連携し、工事で休止する常設展示室を映像で紹介する特別放映「プラネタリウムで常設展示室体験ツアー」139回 ※1：新型コロナ感染症防止のため4/1～6/18放映中止 ※2：新型コロナ感染症防止のためゲストを招く事業を中止	▼プラネタリウム番組(通常放映) 37,668人※1 ▼プラネタリウム番組(学習放映) 3,643人※1 ▼プラネタリウム公演事業(特別放映を含む) 人 ※1 ▼天文普及事業 3,020人 ▼その他天文事業 588人 ▼博物館事業と連携し、工事で休止中の常設展示室を映像で紹介する特別放映「プラネタリウムで常設展示室体験ツアー」136回 ▼東京オリンピック・パラリンピック関連事業「東京2020大会コミュニティライブサイトin府中 臨場感LIVEビューイング」15回 ▼梅まつりライトアップに合わせた特別放映「ナイトプラネタリウム」10回 ※1：新型コロナ感染症防止のため4/25～5/31放映中止、常設展示室改修工事のため6/1～7/17、8/31～11/30は日曜・祝日のみ放映	▼プラネタリウム番組(通常放映) 54,224人 ▼プラネタリウム番組(学習放映) 9,099人 ▼プラネタリウム公演事業(特別放映を含む) 2,045人 人 ※1 ▼天文普及事業 6,163人 ▼天文普及事業 7,283人 人 ▼その他天文事業 1,443人 ▼梅まつりライトアップに合わせた特別放映「ナイトプラネタリウム」8回	▼プラネタリウム番組(通常放映) 26,768人 ▼プラネタリウム番組(学習放映) 3,207人 ▼プラネタリウム公演事業(特別放映を含む) 2,045人 人 ※1 ▼天文普及事業 11,232人 ▼その他天文事業 546人 ※本館改修工事のため9/4～3/3までプラネタリウム等休止。土日を中心に休憩所「やすらぎ亭」を主な会場として天文ワークショップを開催 ※3月より博物館が全館休館となり、ミッテン府中を会場とした「出張！博物館体験」を実施6/1～7/14は土日を中心に休憩所「やすらぎ亭」を主な会場として天文ワークショップを開催 ※3月より博物館が全館休館となり、ミッテン府中を会場とした「出張！博物館体験」を実施	3月末に集計予定 ※4/1～5/31の期間、博物館全館休館となり、ミッテン府中を会場とした「出張！博物館体験」を実施6/1～7/14は土日を中心に休憩所「やすらぎ亭」を主な会場として天文ワークショップを開催 ※本館改修工事終了に伴い7/20よりプラネタリウム開始	

No	基本 施策	施策	施策事業名	担当課	事業内容	計画期間中の 取組内容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	備考
8	喜びと感動を享受できるまちづくり	③文化に対する支援環境の整備	府中の森芸術劇場の管理運営	文化生涯学習課(府中の森芸術劇場)	施設の使用許可、利用料金の徴収ほか維持管理運営に関する管理業務を、指定管理者に委託し、安全で快適な施設管理を行う。	引き続きおもてなしの心を込めたサービスの向上に努め、利用者本位の柔軟な運営を推進し、併せて施設の利用促進に取り組めます。	公的助成金を活用して新型コロナ感染防止に必要な備品・消耗品等を配置し、さらにガイドライン・チェックリストを準備することで利用者・来場者が安全に施設利用ができるよう整備した。またインターネット配信希望増に対応すべく環境整備に取り組んだ。一方で武蔵野美術大学との連携によるクリスマスディスプレイやウェルカムフラワー(いけばな)による劇場空間演出を継続した。	引き続き公的助成金を活用した新型コロナ感染防止対策として、顔認証サーマルカメラの導入や客席の抗菌コートを実施し、安全に利用できる環境づくりを促進した。また、利用者アンケートで要望が多かったWi-Fiを平成の間と練習室ゾーンに敷設し利用者の利便性を高めるとともに、オンライン会議・レッスンなど時代に即した利用ができる環境を整えた。さらに開館30周年記念のディスプレイやバナー等で市民とともに周年を祝う雰囲気づくりをおこなった。また、SNS(ツイッター)を開始し、タイムリーな情報提供を実施した。	引き続き公的助成金を活用して、新型コロナ感染防止対策としたホール客席の抗菌コートを実施。加えて、各ホールホワイエ、楽屋エリアのWi-Fi設備を増設し、利用者ニーズに沿った環境整備に取り組んだ。また、第1リハーサル室のグランドピアノをオーバーホールし、コンディションの維持に努めた。SNSに関しては、公式Instagramとフェイスブックの運用を開始し、より多くの方への情報発信を行った。	改修工事に伴う休館後の施設利用再開のタイミングに合わせ、施設抽選応募方法を従来の来館方式から劇場ホームページからのオンライン受付に変更。来館の負担なく抽選に参加できる仕組みを整えた。また、市立幼稚園の閉園に伴いアップライトピアノを譲り受け、ピアノ未設置であった練習室に設置し、利用用途の拡大と稼働率向上を図った。	練習室、会議室の利用に関して、公共施設予約システム上での予約と入金機での支払いを可能にし、利用者の利便性を高めた。また、改修工事に伴う休館を機に、老朽化している各ホールホワイエや平成の間、練習室等の備品を更新。さらに、令和7年度からの運用開始に向けたキャッシュレス決済導入準備に着手し、劇場再開に備えた環境整備に取り組んだ。	
9			各種情報媒体の活用	秘書広報課 広報担当	催し情報が広く市民に伝わるよう、広報紙、ホームページのほか、テレビ広報、メール配信などの各種情報媒体を活用します。	各種情報媒体を有効に活用するとともに、新聞社等のマスメディアへの情報提供を積極的に行います。	・広報紙 1回あたり平均72,000部 ・ホームページ 1月あたり平均9,869コンテンツを公開 ・テレビ広報 毎月3回更新、1日3回放映 ・メール配信サービス 年間878件配信	・広報紙 1回あたり平均70,000部(5/21号～8/21号は71,000部) ・ホームページ 1月あたり平均10,434コンテンツを公開 ・テレビ広報 4～9月:毎月3回更新、1日3回放映、10～3月:毎月2回更新、1日2回放映 ・メール配信サービス 年間1,158件配信	・広報紙 1回あたり平均69,000部 ・ホームページ 1月あたり平均10,817コンテンツを公開 ・テレビ広報 毎月2回更新、1日2回放映 ・メール配信サービス 年間1,227件配信	・広報紙 1回あたり平均67,000部 ・ホームページ 1月あたり平均10,426コンテンツを公開 ・テレビ広報 毎月1回更新、毎月1～10日に1日1回放映 ・メール配信サービス 年間1,156件配信	・広報紙 1回あたり平均66,000部 ・ホームページ 1月あたり平均10,631コンテンツを公開(11月分まで) ・メール配信サービス 855件配信(12月1日時点)	
10	基本 施策 2 文化・芸術の担い手育成をはじめとする市民協働によるまちづくり	①伝統芸能や市民の文化・芸術活動の担い手育成	府中囃子伝承普及事業	文化生涯学習課	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、府中囃子保存会に府中囃子の演奏技術伝承事業を委託して実施します。	引き続き実施します。	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、府中囃子保存会(25団体)に府中囃子の演奏技術伝承事業を委託して実施した。	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、府中囃子保存会(25団体)に府中囃子の演奏技術伝承事業を委託して実施した。	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、府中囃子保存会(25団体)に府中囃子の演奏技術伝承事業を委託して実施した。	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、府中囃子保存会(25団体)に府中囃子の演奏技術伝承事業を委託して実施した。	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、府中囃子保存会(25団体)に府中囃子の演奏技術伝承事業を委託して実施した。	
11			武蔵国府太鼓伝承普及事業	文化生涯学習課	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、武蔵国府太鼓連盟に、武蔵国府太鼓の講習会事業を委託して実施します。	引き続き実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、武蔵国府太鼓連盟に、武蔵国府太鼓の講習会事業を委託し、普及を図った。 講習会数:25回(荒天で1回中止) 講習人数:13人 また、武蔵国府太鼓の普及を目的として、演奏DVDを販売を行った。	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、武蔵国府太鼓連盟に、武蔵国府太鼓の講習会事業を委託し、普及を図った。 本年度より主催が府中市から府中文化振興財団へ移行した。 講習会数:42回(台風で1回中止) 講習人数:36人 また、武蔵国府太鼓の普及を目的として、演奏DVDを販売を行った。	演奏技術の伝承普及及び後継者の育成を図るため、武蔵国府太鼓連盟に、武蔵国府太鼓の講習会事業を委託し、普及を図った。 講習会数:28回(台風で1回中止) 講習人数:47人 ※12月12日(木)時点 また、武蔵国府太鼓の普及を目的として、演奏DVDを販売を行った。	
12			博物館ボランティア活動	ふるさと文化財課(郷土の森博物館)	博物館活動に関心のある市民にボランティアとして登録してもらい、様々な分野での活動を通して学習意欲やコミュニティ力を高めるとともに、能力をいかした博物館活動を推進します。	「市民参加」から「市民協働」へ、30年の実績を踏まえ、博物館活動に欠かせないものとして促進させていきます。	登録者数100人。活動合計183日、延べ加者956人 ▼民俗資料整理グループ 活動27日、延べ参加者124人 ▼体験学習グループ 活動15日、延べ参加者 46人 ▼復元建築物グループ 活動66日、延べ参加者371人 ▼園内景観グループ 活動23日、延べ参加者156人 ▼古文書整理グループ 活動28日、延べ参加者231人 ▼天文グループ 活動3日、延べ参加者 7人 ▼その他 活動21日、延べ参加者 21人 ※新型コロナウイルス感染症防止のため緊急事態宣言中は活動休止	登録者数99人。活動合計201日、延べ加者1,081人 ▼民俗資料整理グループ 活動28日、延べ参加者127人 ▼体験学習グループ 活動16日、延べ参加者 48人 ▼復元建築物グループ 活動61日、延べ参加者359人 ▼園内景観グループ 活動38日、延べ参加者224人 ▼古文書整理グループ 活動35日、延べ参加者275人 ▼天文グループ 活動12日、延べ参加者 37人 ▼その他 活動11日、延べ参加者 11人 ※新型コロナウイルス感染症防止のため緊急事態宣言中は活動休止	登録者数100人。活動合計341日、延べ加者1,815人 ▼民俗資料整理グループ 活動40日、延べ参加者168人 ▼体験学習グループ 活動25日、延べ参加者 89人 ▼復元建築物グループ 活動112日、延べ参加者619人 ▼園内景観グループ 活動41日、延べ参加者307人 ▼古文書整理グループ 活動52日、延べ参加者494人 ▼天文グループ 活動26日、延べ参加者 93人 ▼その他 活動45日、延べ参加者 45人	登録者数109人。活動合計343日、延べ加者1,811人 ▼民俗資料整理グループ 活動37日、延べ参加者153人 ▼体験学習グループ 活動22日、延べ参加者 77人 ▼復元建築物グループ 活動99日、延べ参加者636人 ▼園内景観グループ 活動39日、延べ参加者310人 ▼古文書整理グループ 活動58日、延べ参加者474人 ▼天文グループ 活動30日、延べ参加者 101人 ▼その他 活動58日、延べ参加者 60人	3月末に集計予定	
13		②地域の芸術家に対する支援	公開制作	美術館	公開制作室で作家が作品を制作します。具体的な制作過程を市民に公開し、作品の理解を深めます。	公開制作の在り方を点検しながら実施していきます。	■公開制作78「児玉幸子 脈動一溶けるリズム」 97日開催 参加者5,391人 ■公開制作79「三沢厚彦 府中の森のアニマルルーム」 57日開催 参加者6,071人 ■公開制作80「L PACK. アイビス・ア・カップのアトリエ」 67日開催 参加者5,871人	■公開制作81「樫田ちひろ 縛れもつ、解ほだけ、すべては進みながら起こる」 58日開催 参加者8,081人 ■公開制作82「岩井優 ハウツー・クリーンアップ・ザ・ミュージアム」 56日開催 参加者8,361人 ■公開制作82「浅井裕介 種を食べた美術館」 100日開催 参加者21,807人	■公開制作84 幸田千依「空と競馬場」 77日開催 参加者12,446人 ■公開制作85 スポークンワーズプロジェクトによるスポークンワーズプロジェクト 104日開催 参加者20,728人 ■公開制作アーカイブ 57日開催 参加者15,891人	■公開制作86 馬場稔郎「animalier ～白いキリンの夢～」 65日開催 参加者13,307人 ■公開制作87 今井俊介 100日開催 参加者19,281人 ■公開制作88 高田安規子・政子 くり返すカタチ 57日開催 参加者9,710人 ■公開制作アーカイブ 20日開催 参加者3,727人	年度途中のため、実績記入不可	
14			市民美術展	美術館	市に社会教育団体登録した市民グループから作品1点を推薦し展示します。	出品する市民の意見を反映しつつ、実施していきます。	事業終了	事業終了	事業終了	事業終了	事業終了	
15			府中の森めばえコンサート	文化生涯学習課(府中の森芸術劇場)	将来有望な若手アーティストに演奏の機会を提供し、市民や地域の方々とともに才能あるアーティストを支援します。	当公演の応援者となるサポーターの増加を目指します。	サポーターを増やすため、公演時ロビーでの新規入会受付や、関連団体の勧誘を行った。 サポーター数 個人:125人145口、団体:8団体90口 開催日:令和2年9月26日(中止)、令和3年1月9日 入場者数:計139人	サポーターを増やすため、公演時ロビーでの新規入会受付や、関連団体の勧誘を行った。 サポーター数 個人:87人109口、団体:7団体80口 開催日:令和3年9月18日(延期)、令和4年2月5日 入場者数:計217人	サポーターを増やすため、公演時ロビーでの新規入会受付や、関連団体の勧誘を行った。 サポーター数 個人:71人92口、団体:8団体90口 開催日:令和4年5月21日、令和5年2月11日 入場者数:計413人	サポーターを増やすため、公演時ロビーでの新規入会受付や、関連団体の勧誘を行った。 サポーター数 個人:64人83口、団体:7団体70口 開催日:令和5年6月24日、令和6年2月10日 入場者数:計546人	休館に伴い、サポーターシステムは休止。しかし、めばえコンサートの周知のため、無料イベントとしてコンサートを開催し、サポーターを増やすためにご案内を行う予定。 サポーター数 休止中 開催日:令和7年1月11日(無料イベントとして開催) 入場者予定者数:約100名	

No	基本 施策	施策	施策事業名	担当課	事業内容	計画期間中の 取組内容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	備考
16	基本 施策 3	① 文化財の 保存・活用	文化財保存活用事業	ふるさと文化財課	市内文化財の維持管理及び普及事業を実施するとともに、文化財の保護・活用を行います。また、国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館の運営を行います。	引き続き、市内文化財の維持管理や普及事業を実施し、文化財の保護活用を進めていきます。	▼文化財の維持・管理 ▼文化財保護審議会の運営 ▼多摩郷土誌フェアに出店（※コロナ禍により中止） ▼史談会の運営費への一部補助 ▼大國魂神社本殿修理の一部補助 ▼国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館 5,438人	▼文化財の維持・管理 ▼文化財保護審議会の運営 ▼多摩郷土誌フェアに出店（※コロナ禍により中止） ▼史談会の運営費への一部補助 ▼内藤家住宅の府中市有形文化財（建造物）指定 ▼国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館 5,360人	▼文化財の維持・管理 ▼文化財保護審議会の運営 ▼多摩郷土誌フェアに出店 ▼史談会の運営費への一部補助 ▼内藤家住宅の東京都有形文化財（建造物）指定 ▼国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館 6,147人	▼文化財の維持・管理 ▼文化財保護審議会の運営 ▼多摩郷土誌フェアに出店 ▼史談会の運営費への一部補助 ▼郷土かるたの府中市有形文化財（歴史資料）指定 ▼国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館 7,783人	▼文化財の維持・管理 ▼文化財保護審議会の運営 ▼多摩郷土誌フェアに出店 ▼史談会の運営費への一部補助 ▼国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館 4,897人（12/1時点実績）	
17			埋蔵文化財保存活用事業	ふるさと文化財課	発掘調査や出土遺物等発掘調査結果の再整理、展示資料の作成等を実施し、埋蔵文化財（遺跡）の記録・保存・活用及び国府・国庁の解明を行います。また、市内遺跡出土遺物整理・公開事業を実施し、出土遺物・調査結果の整理・保存・活用・情報提供等を行います。	引き続き、発掘調査で発見された遺構や土器などの遺物を整理し、保存活用を進めていきます。	▼発掘調査 埋蔵文化財発掘調査 14件（1,050.34㎡） 埋蔵文化財試掘調査 80件（2,348.32㎡） 調査報告書の発行 1冊 ▼活用 ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み2020 715人 府中の発掘お宝展 109,673人 武蔵府中熊野神社古墳まつり ※コロナ禍による中止 ムサシカメ丸君のドキ土器冬休み2020 200人	▼発掘調査 埋蔵文化財発掘調査 12件（1,782.7㎡） 埋蔵文化財試掘調査 110件（2,886.2㎡） ▼活用 ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み2021 630人 府中の発掘お宝展 275,407人 武蔵府中熊野神社古墳まつり ※コロナ禍による中止 ムサシカメ丸君のドキ土器冬休み2021 930人	▼発掘調査 埋蔵文化財発掘調査 7件（685.62㎡） 埋蔵文化財試掘調査 96件（4,116.81㎡） ▼活用 ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み2022 474人 府中の発掘お宝展 286,315人 武蔵府中熊野神社古墳まつり-武蔵府中熊野神社古墳ライトアップ 810人 ムサシカメ丸君のドキ土器冬休み2022 397人	▼発掘調査 埋蔵文化財発掘調査 8件（572.45㎡） 埋蔵文化財試掘調査 100件（2,158.64㎡） ▼活用 ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み2023 779人 武蔵府中熊野神社古墳まつり 1,500人 ムサシカメ丸君のドキ土器冬休み2023 168人	▼発掘調査 埋蔵文化財発掘調査 8件（1,215.72㎡） 埋蔵文化財試掘調査 49件（1,417.34㎡） ▼活用 ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み2024 461人 武蔵府中熊野神社古墳まつり 2,000人	
18			武蔵国府跡保存活用事業	ふるさと文化財課	JR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立をめざして、国史跡武蔵国府跡（国衙地区・国司館地区）の保存・整備・活用を図ります。	史跡の歴史的価値を広く市内外に発信し、年間を通じてより多くの人々が集う場所としています。	▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区）史跡広場の公開、維持管理 ▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用第2期整備基本計画策定 ▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区） 27,692人	▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区）史跡広場の公開、維持管理 ▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区） 30,236人	▼国司館広場部分の活用によるにぎわい創出の推進 ▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区）史跡広場の公開、維持管理 ▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区） 38,958人	▼国司館広場部分の活用によるにぎわい創出の推進 ▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区）史跡広場の公開、維持管理 ▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区） 45,501人	▼国司館広場部分の活用によるにぎわい創出に取り組むとともに、国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用第2期整備基本計画検討 ▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区）史跡広場の公開、維持管理 ▼国史跡武蔵国府跡（国司館地区） 25,573人（12/1時点実績）	
19		② 地域文化の 継承と活性化	府中市史編さん事業	ふるさと文化財課 市史編さん担当	市制70周年を迎える令和6年（2024）の完成を目標として、約半世紀ぶりに新たな府中市史を編さんし、府中市の歴史文化の情報や魅力を市内外に幅広く発信します。	新たな「府中市史」の通史編・資料編などの刊行物を順次、編集発行します。	市史編さん各専門部会による資料調査を実施 市史刊行物5種を発行（原始古代資料編3、近現代資料編中、武蔵府中の中世石塔、古文書調査報告書—四ッ谷市川家、市史研究3号） 市史編さんだよりを2回発行	市史編さん各専門部会による資料調査を実施 市史刊行物3種を発行（近現代資料編下、古文書調査報告書—是政三岡家、市史研究4号） 市史編さんだよりを1回発行	市史編さん各専門部会による資料調査を実施 市史刊行物4種の発行（原始・古代通史編、中世通史編、近現代通史編上、自然編） 市史編さんだよりを1回発行	市史編さん各専門部会による資料調査を実施 市史刊行物の4種の発行（原始・古代通史編、中世通史編、近現代通史編上、自然編） 市史編さんだよりを1回発行	市史編さん各専門部会による資料調査を実施 市史刊行物2種の発行（近現代通史編下、考古・美術工芸編）。 刊行記念講演会、パネル展などの開催 市史刊行物2種の発行予定（近世通史編、民俗編）	
20			由来碑管理	文化生涯学習課	市民がふるさとの歴史や風土を理解する道しるべの一助となることを目的として設置した由来碑の管理を行います。	老朽化が進んでいるものの修繕や、土地の変化等にも合わせながら適切に維持管理をしています。	142基ある由来碑すべての点検及び清掃を実施し、適切に維持管理をした。	142基ある由来碑すべての点検及び清掃を実施し、適切に維持管理をした。	142基ある由来碑すべての点検及び清掃を実施し、適切に維持管理をした。	142基ある由来碑すべての点検及び清掃を実施し、適切に維持管理をした。	142基ある由来碑すべての点検及び清掃を実施し、適切に維持管理をした。	
21			各文化センターコミュニティ圏域交流事業	地域コミュニティ課	七夕の集いなど、地域で行われている催しについて、各文化センター圏域コミュニティ協議会に事業を委託します。子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民が交流を深め、伝統文化や行事を体験的に楽しみ、学べるよう協働で実施します。	引き続き支援します。	11コミュニティ協議会でのべ8回446人がコミュニティ圏域内地域交流促進事業に参加した。 新型コロナウイルス感染拡大防止で135事業を中止した。	11コミュニティ協議会でのべ57回7,093人がコミュニティ圏域内地域交流促進事業に参加した。 新型コロナウイルス感染拡大防止で82事業を中止した。	11コミュニティ協議会でのべ132回87,441人がコミュニティ圏域内地域交流促進事業に参加した。	11コミュニティ協議会でのべ142回168,927人がコミュニティ圏域内地域交流促進事業に参加した。	11コミュニティ協議会でのべ92回150,043人がコミュニティ圏域内地域交流促進事業に参加した。 （12.1時点集計）	
22		③ 歴史、自然、文化が一体化し 成た魅力的な景観の保全とまちの形	府中水辺の楽校	環境政策課	小学生を対象に、身近な自然を学ぶ機会として、多摩川の自然を遊びながら学習するイベント（魚とり、昆虫採集、植物観察等）を開催しています。	引き続き、身近な自然の大切さを学ぶ機会を提供していきます。	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一般向け全イベントを中止とした。	▼6月19日※中止 事業名：多摩川で水辺の生き物を観察しよう ▼7月10日※中止 事業名：多摩川サマースクール2021 ▼7月27日※中止 事業名：多摩川源流体験教室2021 ▼8月中下旬※中止 事業名：多摩川おさかなウォッチング ▼9月 4日※中止 事業名：多摩川で水辺の生き物を観察しよう ▼10月23日 事業名：多摩川河口観察会2021 開催場所：川崎市（大師河原水防センター） 参加者数：14人 ▼11月14日 事業名：竹竿を作ろう！ 開催場所：府中市郷土の森博物館会議室 参加者数：18人（子ども9人）	▼6月25日 事業名：多摩川で水辺の生き物を観察しよう 開催場所：多摩川河川敷（四谷庭球場南側） 参加者数：35人（子ども17人） ▼7月9日 事業名：多摩川サマースクール2022 開催場所：郷土の森公園バーベキュー場 参加者数：60人（子ども32人） ▼7月26日 事業名：多摩川源流体験教室 開催場所：山梨県小菅村 参加者数：子ども21人 ▼9月10日 事業名：多摩川で水辺の生き物を観察しよう 開催場所：多摩川河川敷（四谷庭球場南側） 参加者数：38人（子ども22人） ▼10月23日 事業名：多摩川河口観察会 開催場所：川崎市（大師河原水防センター） 参加者数：子ども22人 ▼11月13日 事業名：竹竿を作ろう！ 開催場所：府中市役所第2庁舎 参加者数：17人（子ども9人） ▼1月28日 事業名：多摩川野鳥観察会 開催場所：郷土の森公園バーベキュー場 参加者数：20人（子ども10人）	▼6月10日 事業名：多摩川で水辺の生き物を観察しよう 開催場所：多摩川河川敷（四谷庭球場1南側） 参加者数：29人（子ども15人） ▼7月9日※中止 事業名：多摩川サマースクール2023 ▼7月28日 事業名：多摩川源流体験教室 開催場所：山梨県小菅村 参加者数：子ども23人 ▼9月10日※中止 事業名：多摩川で水辺の生き物を観察しよう ▼10月28日 事業名：多摩川河口観察会 開催場所：川崎市（大師河原水防センター） 参加者数：子ども22人 ▼11月25日 事業名：竹竿を作ろう！ 開催場所：府中市役所第2庁舎 参加者数：19人（子ども10人） ▼1月28日※中止 事業名：多摩川野鳥観察会	▼6月1日 事業名：多摩川で竹竿作りと釣り体験 開催場所：郷土の森公園バーベキュー場 参加者数：16人（子ども8人） ▼6月29日 事業名：多摩川サマースクール2024 開催場所：郷土の森公園バーベキュー場 参加者数：48人（子ども44人） ▼7月30日 事業名：多摩川源流体験教室 開催場所：山梨県小菅村 参加者数：子ども25人 ▼9月7日 事業名：多摩川河口観察会 開催場所：川崎市（大師河原水防センター） 参加者数：子ども17人 ▼9月21日 事業名：多摩川自然観察会 開催場所：郷土の森公園バーベキュー場 参加者数：31人（子ども16人） ▼未定※中止 事業名：多摩川で石ころ観察会 開催場所：郷土の森公園バーベキュー場	

No	基本 施策	施策	施策事業名	担当課	事業内容	計画期間中の 取組内容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	備考
23	基本 施策 3	③	市民花壇	環境政策課 (R4～公園緑地課)	公園などの公共用地に、市民参加による花壇づくりを進めます。登録した市民団体へ春と秋に花苗と球根(秋のみ)を配付し、花壇の維持管理を行います。	引き続き、登録した市民団体に草花の苗の提供を行っていきます。	登録団体:28団体 登録箇所:34ヵ所 配布数 :春 1,760株 秋 2,370株	登録団体:28団体 登録箇所:33ヵ所 配布数 :春 1,730株 秋 2,286株	登録団体:25団体 登録箇所:31ヵ所 配布数 :春 1,780株 秋 1,700株	登録団体:24団体 登録箇所:30ヵ所 配布数 :春 1,700株 秋 1,660株	登録団体:24団体 登録箇所:32ヵ所 配布数 :春 1,860株 秋 1,960株	令和4年度に公園緑地課へ移管されます。
24			馬場大門のケヤキ並木保護対策事業	ふるさと文化財課	府中市のシンボルであるケヤキ並木を、将来にわたって健全な状態で保護するため、保護管理計画に基づき巡回調査と対策の実施を行う。	引き続き実施していきます。	▼春と秋の巡回監視を実施し、枯損枝の除去など、緊急性を考慮しながら、関係課と連携して対応した。また、補植に必要な苗木を現地のケヤキの種から育成するため、都立農業高等学校の協力により、ケヤキの種収集や育成を行うとともに、同校との保護更新プロジェクトに関する連携協定を締結し、記念植樹を行った。	▼春と秋の巡回監視を実施し、枯損枝の除去など、緊急性を考慮しながら、関係課と連携して対応した。また、補植に必要な苗木を現地のケヤキの種から育成するため、連携協定を結んだ都立農業高等学校や、府中第一小学校・府中第一中学校とともに、保護更新プロジェクトを推進した。	▼春と秋の巡回監視を実施し、枯損枝の除去など、緊急性を考慮しながら、関係課と連携して対応した。また、補植に必要な苗木を現地のケヤキの種から育成するため、連携協定を結んだ都立農業高等学校や、府中第一小学校・府中第一中学校とともに、保護更新プロジェクトを推進した。	▼春と秋の巡回監視を実施し、枯損枝の除去など、緊急性を考慮しながら、関係課と連携して対応した。また、補植に必要な苗木を現地のケヤキの種から育成するため、連携協定を結んだ都立農業高等学校や、府中第一小学校・府中第一中学校とともに、保護更新プロジェクトを推進した。また、樹木の高所診断や予防剪定手法の検討など、保護管理計画改定に必要な整理を行った。	▼春と秋の巡回監視を実施し、枯損枝の除去など、緊急性を考慮しながら、関係課と連携して対応した。また、補植に必要な苗木を現地のケヤキの種から育成するため、連携協定を結んだ都立農業高等学校や、府中第一小学校・府中第一中学校とともに、「保護管理計画」の改定に着手し、令和7年度中の改定に向け推進した。	
25	基本 施策 4 市内外から人々が集い、文化を通して交流とにぎわいが生まれるまちづくり	①文化資源を活用した府中の魅力発信	東京2020参画プログラムの推進	政策課	文化・芸術分野における東京2020参画プログラムの認証イベントを拡大することによって、文化プログラムの認知度を上げ、東京2020大会の気運醸成を図ります。	2020年に向けて大会気運を醸成するため、プログラムの周知拡大と、認証イベントへの市民の積極的参加を推進します。	公認プログラム認証0件 (「文化」の分野での事業申請はなし)	公認プログラム認証0件 (「文化」の分野での事業申請はなし)	事業終了	事業終了	事業終了	オリンピック・パラリンピック終了と共に本事業についても終了したため、令和4年度以降は実績が生じません。
26			観光ガイドツアー	観光プロモーション課	観光ボランティアの会が主体となって、市内の観光資源を案内するツアーを開催します。	引き続き、市内外の観光客に、観光ボランティアにより、市内の観光スポットや歴史文化などを紹介します。	新型コロナウイルス感染症拡大のためいずれも0回	市内観光ミニツアー 開催回数 : 6回 参加人数 : 68人(うち大國魂神社周辺のみを案内するショートガイド参加は27人) ※新型コロナウイルス感染症拡大のため12/2,4,9,16と3/24,31のみ実施。その他のツアーはいずれも0回。	・令和4年度 市内観光ミニツアー 開催回数 : 49回 参加人数 : 271人 ショートガイド 開催回数 : 48回 参加人数 : 171人 リクエストツアー ※6月より再開 開催回数 : 12回 参加人数 : 181人 企画ガイドツアー ※11月より再開(抽せん) 開催回数 : 3回 参加人数 : 56人(応募者数:276人)	・令和5年度 市内観光ミニツアー 開催回数 : 49回 参加人数 : 270人 ショートガイド 開催回数 : 49回 参加人数 : 105人 リクエストツアー 開催回数 : 19回 参加人数 : 587人 企画ガイドツアー(抽せん) 開催回数 : 7回 参加人数 : 94人(応募者数:695人)	・令和6年度(令和6年12月1日時点) 市内観光ミニツアー 開催回数 : 33回 参加人数 : 207人 ショートガイド 開催回数 : 12回 参加人数 : 125人 リクエストツアー 開催回数 : 12回 参加人数 : 162人 企画ガイドツアー(抽せん) 開催回数 : 5回 参加人数 : 81人(応募者数:587人)	
27			市民文化の日(再掲№1)	文化生涯学習課	毎年10月第2日曜日を「市民文化の日」と定め、郷土の森博物館の入場料及び府中市美術館の観覧料を無料とするほか、その他各文化施設において各種イベントを実施します。	事業の拡大方法やPR方法について検討し、来場者の増加を目指す。	開催日 令和2年10月11日(日) 参加施設 9施設 参加者数 2,439人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業数を削減した。	開催日 令和3年10月10日(日) 参加施設 9施設 参加者数 11,803人 スタンプラリーからキーワードラリーに変更した。	開催日 令和3年10月10日(日) 参加施設 9施設 参加者数 9,425人 ルミエール府中の休館中の影響で参加者人数が減少した。	開催日 令和4年10月8日(日) 参加施設 9施設 参加者数 13,941人 キーワードラリーの期間を1か月に延長した。	開催日 令和6年10月13日(日) 参加施設 10施設 参加者数 20,731人 市制施行70周年記念事業として中心市街地でもイベントを実施した。	
28		②地域社会での連携及び交流機会の充実	学校協力事業	ふるさと文化財課(郷土の森博物館)	郷土の森博物館と学校とが協力し、児童・生徒の総合学習、郷土学習、体験学習等を支援するとともに、教員研修を行うほか、出前講座や資料貸出しなど博物館外での活動を行います。	リニューアルした常設展示室・プラネタリウム等を活用した団体利用と教員研修やアウトリーチを促進させます。	▼常設展示室学校団体展示解説 49件、5,303人 ※1 ▼体験学習 8件、873人 (コロナのため6件中止) ▼出前授業 5件、549人 ▼教員のための博物館の日 1件、29人 ▼教員研修等 1件、15人 ▼資料・教材貸出 7件、4,665人 ▼プラネタリウム学習投映 73件、4,665人 (新型コロナ感染症防止のため4/1～6/18投映中止) ※1: 天井改修工事に伴う常設展示室休室時は、ロビー展にて同内容を実施。	▼常設展示室学校団体展示解説 67件、6,835人 ▼体験学習 13件、1,160人 ▼出前授業 16件、2,217人 ▼教員のための博物館の日 1件、20人 ▼教員研修等 4件、27人 ▼資料・教材貸出 15件、129件 ▼プラネタリウム学習投映 58件、9,099人 ▼「武蔵府中くらやみ祭」に関する子ども向け解説シート制作	▼常設展示室学校団体展示解説64件、6,048人 ▼体験学習 11件、980人 ▼出前授業 12件、1,095人 ▼教員のための博物館の日 1件、23人 ▼教員研修等 3件、19人 ▼職場体験 1件、4人 ▼資料・教材貸出 14件、58件 ▼プラネタリウム学習投映 58件、3,207人 ▼こども版「むかしの農家とそのつくり」解説シート制作 ※本館改修工事のため9/4～3/3まで常設展示室閉鎖、園内復元建物を会場として団体利用対応実施 ※3/4より博物館が全館休館となり団体受付休止。休館期間中はミッデン府中を会場に「出張！博物館体験」を実施	3月末に集計予定 ※4/1～5/31の期間、全館休館。期間中の土日祝日にミッデン府中を会場とした「出張！博物館体験」を実施。6/1～7/14は園内復元建物を会場として団体利用対応実施 ※本館改修工事了に伴い7/20より常設展示室を含めた団体利用開始		
29			青少年対策地区委員会育成事業活動	児童青少年課	中学校単位で11地区ある青少年対策地区委員会が、ふれあいイベントとして、音楽会や作文発表会などを実施し、学校・地域・家庭との連携を図りながら、文化に親しむことのできるよう環境づくりを行います。	各青少年対策地区委員会に対し補助を行うなど、活動の推進を引き続き支援していきます。	【実施事業回数】 環境浄化活動34回 非行防止活動 2回 育成事業活動13回 啓発事業活動20回 委員会運営 123回 【参加人員】17,984人(内児童数5,129人)	【実施事業回数】 環境浄化活動61回 非行防止活動 4回 育成事業活動30回 啓発事業活動28回 委員会運営165回 【参加人員】8,882人(内児童数3,085人)	【実施事業回数】 環境浄化活動75回 非行防止活動21回 育成事業活動64回 啓発事業活動58回 委員会運営163回 【参加人員】12,845人(内児童数5,536人)	【実施事業回数】 環境浄化活動75回 非行防止活動18回 育成事業活動70回 啓発事業活動58回 委員会運営163回 【参加人員】116,326人(内児童数6,068人)	【実施事業回数】 環境浄化活動57回 非行防止活動10回 育成事業活動52回 啓発事業活動34回 委員会運営94回 【参加人員】12,420人(内児童数4,715人)	令和6年度については、昨年度の実績を基に計算した暫定値となります。
30			各文化センターコミュニティ圏域交流事業(再掲№21)	地域コミュニティ課	七夕の集いなど、地域で行われている催しについて、各文化センター圏域コミュニティ協議会に事業を委託します。子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民が交流を深め、伝統文化や行事を体験的に楽しみ、学べるよう協働で実施します。	引き続き支援します。	11コミュニティ協議会でのべ8回446人がコミュニティ圏域内地域交流促進事業に参加した。 新型コロナ感染拡大防止で135事業を中止した。	11コミュニティ協議会でのべ57回7,093人がコミュニティ圏域内地域交流促進事業に参加した。 新型コロナ感染拡大防止で82事業を中止した。	21で回答	21で回答	21で回答	

No	基本 施策	施策	施策事業名	担当課	事業内容	計画期間中の 取組内容	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	備考
31	基本 文化を 通して 生まれ るまち づくり に ぎわ いが 集い、 市内 外から 人々が 集い、	③ 多 文化 共生 の 推 進	多言語生活情報紙 インフォラインの発行	多様性社会推進課	市からの生活情報や市内の催し物情報などを、日本語、英語、中国語、ハングルで併記した情報誌を年4回発行しています。	引き続き定期的な発行を行います。	日本語、英語、中国語、ハングル併記の情報誌を年3回、各1,500部発行した。全4回発行予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、掲載予定であったイベントが多数中止となったため、1回分の発行を取りやめた。	日本語、英語、中国語、ハングル併記の情報誌を年4回、各1,500部発行した。	日本語、英語、中国語、ハングル併記の情報誌を年4回、各1,200部発行した。	・日本語、英語、中国語、ハングル併記の情報誌を4月に1回(1,200部)発行した。 ・令和5年4月号をもって府中インフォラインを廃止し、インフォラインに代わる情報発信手段として、多文化共生センターDIVEのSNSを使った情報発信をした。	・多文化共生センターDIVEのSNSを使った情報発信をした。 ・市ホームページにやさしい日本語自動翻訳機能を5月に導入した。	
32			友好都市との交流 促進	多様性社会推進課	市内在住の青少年を対象に、ウィーン市ヘルナルス区へのホームステイ派遣及びヘルナルス区からの訪問団やホームステイ派遣生の受入れを行います。	青少年のホームステイ相互派遣を継続するとともに、より多くの市民が参加できる交流事業を検討していきます。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、ホームステイ相互派遣事業を中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、ホームステイ相互派遣事業を中止した。	・新型コロナウイルス感染症拡大のため、ホームステイ相互派遣事業を中止した。 ・友好協定締結30周年を記念し、以下の事業を実施した。 ①市長・市議会議員・市民訪問団によるヘルナルス区訪問 人数 22人 期間 令和4年10月4日(火)から10日(月) ②友好協定締結30周年記念展の開催 場所 市民活動センター「ブラッツ」バルトホール 来場者数 528人 期間 令和4年11月1日(火)から3日(木) ③友好都市盟約30周年記念誌の作成	・友好都市ウィーン市ヘルナルス区からの青少年ホームステイ受入を実施した。 人数 6人 期間 令和5年7月22日(土)から31日(月) ・友好都市ウィーン市ヘルナルス区への青少年ホームステイ派遣を実施した。 人数 6人 期間 令和5年8月10日(木)から21日(月) ・友好都市ウィーン市ヘルナルス区から区長をはじめとする友好訪問団が来訪した。 人数 18人 期間 令和5年10月27日(金)から11月4日(土)	・友好都市ウィーン市ヘルナルス区からの青少年ホームステイ受入を実施した。 人数 5人 期間 令和6年7月20日(土)から29日(月) ・友好都市ウィーン市ヘルナルス区へのホームステイ派遣を実施した。 人数 6人 期間 令和6年8月8日(木)から19日(月)	
33			東京2020大会に向けた文化事業	文化生涯学習課 (府中の森芸術劇場)	東京2020大会の開催に伴い、日本や東京又は府中をテーマにした事業を実施します。	実施にあたっては、外国人が参加しやすい環境づくりに努めます。	1964年東京オリンピックにちなんだ作品の映画会を企画した(中止)。	1964年東京オリンピックにちなんだ作品の映画会を企画した(中止)。	事業終了	事業終了	事業終了	